

生活にゆとりと潤いを！！

看護科支部 曾谷貴子

卒業生のみなさまいかがお過ごしでしょうか？

2013年を迎え、「1月行く、2月逃げる、3月去る」という状況を日々感じている今日この頃。このリレーエッセイを書くにあたり何かないかと考え、身近なことを書くことにしました。

実は昨年暮れから、ちょっと頑張ろうかなと取り組んでることが2つあります。1つは植物の世話です。私は仕事にかまけて、部屋をそうじすることがやっとの日々を送っていました。殺風景なリビングに置いている植物の葉は青々していますが、日照時間不足で花芽がつかないオンシジウムやシャコバサボテンが一応飾ってあります。そこで何とか花を咲かせようと年末から、出かける前に少しブラインドをあげたり、カーテンを開けて光を入れていると、なんと3年ぶりにシャコバサボテンに花芽がついて咲き始めました。植物も手をかけてやらないといけないと思い、これから春にかけてオンシジウムの花芽が出ることを期待しながら、今年の春には植え替えをしようかなと考えています。



もう1つは、年末の掃除の時、整理戸棚の三角コーナーに、季節に応じた小物を飾る場所を作りました。癒しの空間として、正月、節分、お雛様・・

など飾り、生活にちょっとした潤いを持たせたいと、密かにカタログ販売や雑貨をそろえ初めています。夫や息子は、「何か始めたぞ、いつまでつづくかな・・」と言っているようですが・・・。

娘は自分が昨年夏の京都旅行で作った和ろうそくや、バザーで安く買った雑貨を飾ったりと一緒に参加してくれています。

疲れて帰った時にこそ、ちょっとした家庭のやすらぎが必要だと思います、と言うことは、私は疲れてるんだなと書きながら自覚した次第です。

次のエッセイは、いつもはつらつとされている松丘会 泉副会長、よろしくお願ひします。